

米沢興譲館高校SSH通信

SSH推進委員会 代表挨拶

その学びの先にあるもの

校長 舟山和彦



SSHは生徒の科学的能力を培い、将来、国際的に活躍する科学技術人材を育成することを目的に、文部科学省が平成14年から推進している事業です。本校は日本で最初のSSH指定校の一つであり、現在、その第IV期の5年目、最終年を迎えます。今年度で第I期から通算で18年目となりますが、山形県、東北のみならず、全国の中でも先駆的な取り組みをこれまでおこなってまいりました。

理数系に限らず、自分が興味・関心のある事象を科学的、論理的に分析し、それを社会のために生かすために、他者と協働して、アクションをおこす。これが本校のSSHで皆さんに学んでいただきたいことの一つです。DXやAIなどの発達で、近年、直接人間がやらなくてもよいことが多くなっておりませんが、先程と真逆なことを言えば、技術や理論だけでは社会は動かない、というのも一つの真実です。

皆さんには、本校のSSHの活動の中で、人との関わり方や多様な社会での自己実現といった、今後の社会で最も必要とされる、「生きるためのスキル」も高めていただければと思います。皆さんの活躍を楽しみにしております。

スーパーサイエンスリサーチ (SSR) 徒弟制を実施して

4/22 (水) SSR徒弟制を実施しました。3年生がテーマ設定の経緯、手法、考察など探究を振り返って上手くいったことや課題を2年生に伝えました。3年生はSSRを振り返りながら2年生に自らの取り組みを伝えることでキャリア意識の涵養を図り、2年生はSSRに対する具体的な方策を学ぶことで、今後の動機付けを図りました。

【2学年生徒感想】

- ・先輩方のお話を聞いて、見通しを立てて早めに行動することが大切だとわかりました。これからのSSRの活動ではメンバーと話し合って計画を立て、充実した研究ができるよう、今回の徒弟制を活かしていきたいです。
- ・先輩方から直接アドバイスや成功談、失敗談をいただいた有意義な時間でした。今回の徒弟制で学んだことをよりよい研究となるように活かしたいと思いました。
- ・先輩方の研究についてのリアルな声が聞けたので、今後の研究の見通しが付きました。指示待ちにならず、班員と協力して楽しみながら計画的にSSRに臨んでいきたいです。
- ・テーマの決め方から実験の手法、課題まで貴重な経験を聞いた有意義な時間だった。先輩方からの応援も頂いたので、今後向き合っていく研究が自分たちにとってより良いものになるように計画を立てていきたい。
- ・研究を行う上で、計画性が大切であると学びました。先輩方からいただいた助言をもとに、より成果が得られる研究にしたいです。
- ・テーマ設定から発表までの一連の流れや論文の調べ方を知ることができ、勉強になりました。今回学んだことを活かし、自分の研究テーマについて深く探究していきたいです。



241

山形県立米沢興譲館高等学校SSH事務局

URL <https://www.yonezawakojokan-h.ed.jp> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel.0238-38-4741 (代表)

